

平成 21 年度 第 4 回 建築学教育 FD/IT 活用委員会会議議事録

- I. 日 時：平成 21 年 10 月 29 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 会議室
- III. 出席者：若井委員長、衣袋副委員長、寺尾委員、真下委員、関ロアドバイザー
井端事務局長、恩田
- IV. 資 料：①平成 21 年度第 3 回建築学教育 FD/IT 活用委員会 会議議事録（案）
②建築学教育における学士力（案）
③建築学教育における学士力（素案）委員の修正案
④外部アンケート結果（建築学）[取扱注意]
⑤建築学教育における学士力（本日の議論を纏めた修正案）

V. 議 事：

1. 前回議事録の承認 承認された。

2. 学士力の詳細設計について

- 1) 到達目標をイメージしたコア・カリキュラム、到達目標、測定手段の検討(継続)

前回の委員会でまとめた素案に対して、建築学系大学教員を対象として意見の収集を実施した。その結果、28 大学 36 名から回答を得た。16 名からは原案に賛同が得られ、20 名からは項目別に意見が添えられた。

この意見を踏まえて学士力の詳細設計について検討を行った。

2) 検討内容

建築学 学士力(素案) [配布資料④、⑤] および主要 4 項目に関するアンケート結果(⑥)をもとに、項目相互の関連性を確認しながら文案作成の議論を行った。

[コア・カリキュラムのイメージ] については、科目の過不足、表現について見直した。

[到達度] については、箇条書きの内容、表現について他の項目との関連性を確認しながら検討・修正した。

[測定方法] については、[評価手段] (素案)を [測定方法] と読み替え、できるだけ

[到達度] の項目に対応させて箇条書きに明記することとした。

1. 建築の学術、技術および芸術に関する基礎的な知識や素養を身につけている。

- ・[コア・カリキュラムのイメージ]：

“建築造形” は、建築をとり演習を付加して“造形演習”に変更する。

- ・[到達度]：

変更なし

・[測定方法]：

①、②については“レポートおよび筆記試験”などにより確認する。

③は“成果物”により確認する。

2. 建築の計画、環境、構造、材料に関する基本的な専門知識が理解できる。

・[コア・カリキュラムのイメージ]：

“住宅計画”は“建築計画”に含まれるので削除し、“木構造、鉄筋コンクリート構造”は“建築構法”に含まれるものとして削除する。“建築実験”はそれに伴う解析を含め“建築に関する実験”とすると共に、“・演習・実習”を付加して広くカバーする。

・[到達度]：

②～や～という表現をできるだけ避け、“環境や設備”を“環境・設備”とする。

③“建築の仕組み”は“建築の構造”とし、“構造安全”は“安全性”とする。

“を”と“が”の使用法について指摘があり、②および⑤の“…が理解できる”を“…を理解している”に変更する。

⑤“建築実験の解析”は構造・環境・設備等の実験ならびにその解析を含めて、“建築に関する実験”とする。

・[測定方法]：

“出席状況”は評価の対象とはしない。ディスカッションは主観が入り評価しにくい。実験に対する観察は“取り組み状況”として組み込むこととし、

①～④はレポートおよび筆記試験、⑤レポートや取り組み状況などにより確認する。を明記した。

3. 生活環境の安全や安心、公共の福祉などの視点から建築を考えることができる

・[コア・カリキュラムのイメージ]：

“環境マネジメント”を広く把握して“建築のマネジメント”とする。

・[到達度]：

①“安全や安心”は“安全・安心”とし、さらに“、快適性”を加える。

③“法令順守や倫理規範”を“法令の主旨、技術者倫理”とする。

④“地球と地域”の間に“都市”を挿入し、“地球環境や都市・地域社会…”とする。“建築を理解”は具体的に“建築のマネジメントを理解”とする。

・[測定方法]：

①～④はレポートおよび筆記試験、②と④はワークショップなどにより確認する。

4. 建築分野における体系的な知識や技能をもとにして、自ら建築作品や卒業研究などの成果物としてまとめられる素養を身につけている。

素案について評価され、アンケートによるコメントは少なかった。

- ・[コア・カリキュラムのイメージ]：変更なし
- ・[到達度]：変更なし
- ・[測定方法]：
 - ①と②をまとめ、“設計課題で制作された図面や模型などの成果物および発表により確認する”
 - ③については、第3者による評価を導入し、“…、なお、外部評価などにより確認することが望ましい。”を追加する。

- ・以上の論議を経たものを纏め、修正案：資料⑤として作成し即日配布した。
- ・なお、本日作成された修正案：資料⑤は、委員長が精査し更新したものを事務局から各委員に配信し、それを持って最終案とする。(2009.10.29 配信済、確認)

3. 今後の検討スケジュールについて

“建築学の学士力”の成果を踏まえ次の段階として、情報活用力を身に付ける建築教育分野の情報教育の到達目標・ガイドラインを年度内に検討していく。

4. その他

次回の委員会開催日

日時：平成21年12月25日(金)、午後2時から午後4時まで

会場：私立大学情報教育協会 事務局会議室